◆ 城南地域のまちづくり方針

この方針は、第一次上田市総合計画に登載され、自然や文化などそれぞれの地域の特色や個性を生かしながら、市民と行政が連携して住みよい地域づくりを進めるための方向性を示すものです。行政活動だけではなく、市民が自主的に進める各種の地域活動や、市民と行政との協働によって実現していくべき内容を盛り込んだ、地域と行政の共通目標ともいうべき方針が掲げられています。城南地域では次の7つの項目が盛り込まれています。

◆ 第１分科会　≪上田 道と川の駅を活用した地域振興と地域防災拠点づくり≫

「上田道と川の駅を活用した地域振興と地域防災拠点づくり」について検討をしています。平成21年3月城南地域協議会として「上田道と川の駅の利活用について」の意見書の提出を行い、同9月回答書を受理いたしました。以下意見書の内容と市からの回答です。

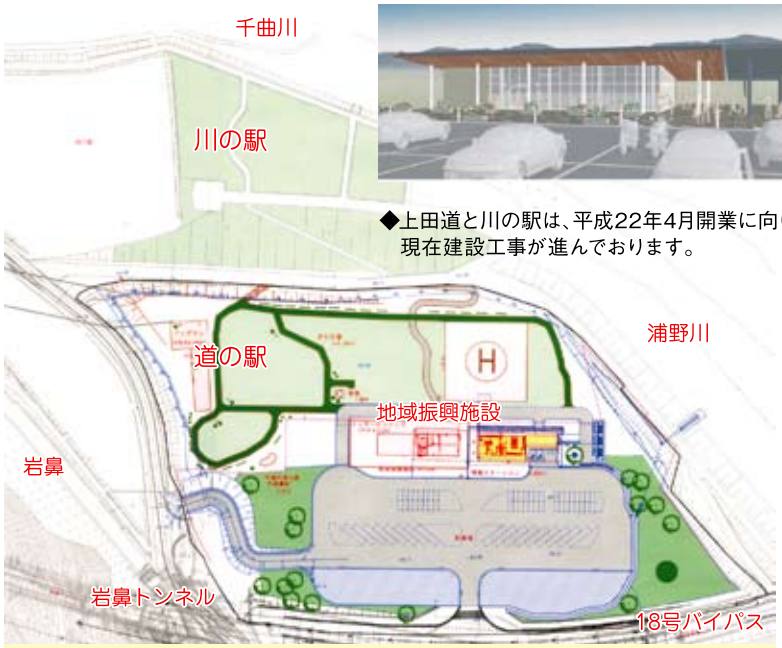
❶『意見要旨』整備後の施設管理・運営について、協議会の意見を聴き、地域の問題として位置づけられたい。『回答要旨』今後、国交省との協議が整った段階で、地域協議会のご意見をお聴きしながら進めてまいりたい。

❷『意見要旨』市所有地の活用について、当面、住民発案による試験的な運用をする中で、運用方針等の決定には、地域の意見が反映できる仕組みを検討されたい。『回答要旨』道の駅利用者への地域情報発信やＰＲは重要と考えており、市所有地の活用については、開通後の交通状況、利用者ニーズを的確に把握し賑わいの創出に努めたい。

❸『意見要旨』県の管理地の整備について、引続き「川の駅」と一体性ある整備ができるよう市で占用し、これまでの経過を踏まえた管理・運営の体制づくりをお願いしたい。『回答要旨』県の管理地（浦野川河川区域）の整備は、市が河川用地を占用し、常設のヘリポート、芝生広場、ウォーキングコースなどを「川の駅」と一体に整備してまいります。また、管理運営については、現管理委託団体等と協議をしながら進めてまいりたい。

完成予想パース

◆上田道と川の駅は、平成22年4月開業に向け、現在建設工事が進んでおります。



地域振興に寄与すべく利活用の制度化に向けて、皆様と共に検討をしてまいります。

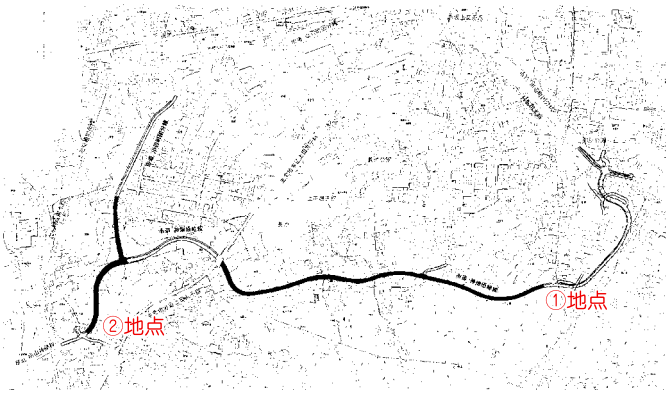
（分科会リーダー）石井孝二、（副・書記）宮崎昭子、金井恵子、西村光男、西川朋子

◆ 第２分科会　≪人や自然にやさしい交通機能の整備≫

「人や自然にやさしい交通機能の整備」をテーマに、活動、協議を進めてまいりました。神畑原峠線、川辺町国分線をメンバーで視察し早期の実現をお願いしてきました。県道77号線から国道143号線にかけての拡幅工事につきましても、関係諸団体と協力し少しでも早い着工に向け、協議してまいりました。地域の大切な交通機関としての上田電鉄別所線については、同本社を訪れ、関係者より現状をお聴きし、存続へ向けての意見交換をしてまいりました。その中で、パーク＆ライドやシャトルバスの運行なども話題になり今後さらに協議してまいります。

◆赤坂上交差点の渋滞解消のため、市道神畑原峠線、川辺町国分線工事が進行中です。

暫定供用開始区間

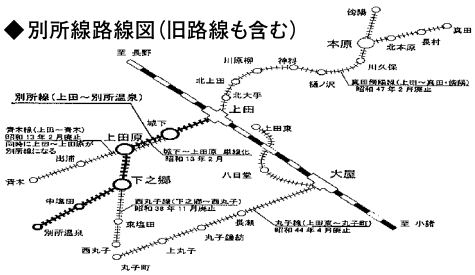


神畑公民館東側付近

ビル建設並の足場

立体交差見学

◆別所線路線図（旧路線も含む）



○上田　○城下　○三好町　○赤坂上　○上田原　○寺下　○神畑　○別所温泉

（分科会リーダー）竹田貴一、（副）山浦健太郎、（書記）石黒政子、清水貞男、田中明